

## お知らせコーナー ~静岡県、市町からのお知らせ~

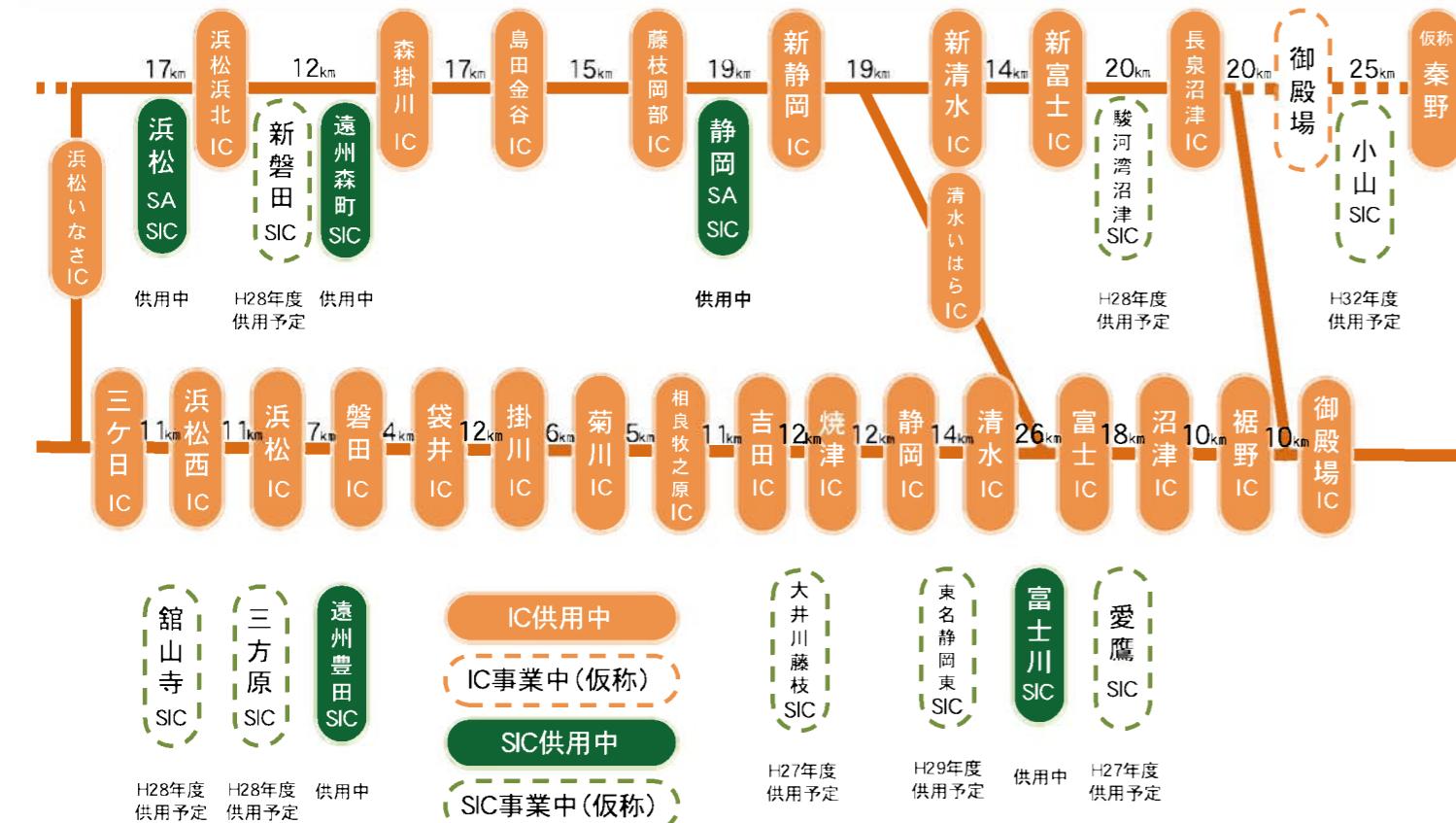
◆新東名静岡SAで開催のオクシズ祭りへブースを出展  
静岡市では、平成26年10月25、26日に新東名静岡SAで開催した静岡市中山間地域のPRイベント「オクシズ祭り」にてブースを出展し、SAをご利用されたお客様へ、静岡SAスマートICの知名度向上のための活動を実施しました。



◆(仮称)小山スマートIC 詳細測量設計及び用地測量業務に着手  
小山町では、(仮称)小山スマートICの用地取得及び工事着工に向け、平成26年10月2日付けで(仮称)小山SIC詳細測量設計及び用地測量業務を発注しました。

◆(仮称)愛鷹スマートICの名称原案が決定しました。  
沼津市では、平成26年12月に開催した地区協議会において、スマートICの名称原案を「愛鷹スマートIC」とすることとし、標識適正化委員会に提出しました。その結果、標識適正化委員会より原案通りで問題無しとの回答を受けました。

## 静岡県内のインターチェンジ・スマートICの位置と供用予定



※事業中箇所の名称は仮称です。

編集・発行



## 静岡県スマートIC協議会

事務局

静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL: 054-221-3203



## しづおかぐっとスマート化計画

# スマートICだより



## トピック

- 1 ようこそ我が町～スマートICからスムーズに観光名所へ～
- 2 東名高速道路沿線の歴史～相良牧之原ICの開設～
- 3 担当者の声～東名焼津・吉田間スマートIC～
- 4 お知らせコーナー～静岡県、市町からのお知らせ～
- 5 静岡県内のIC・スマートICの位置関係と供用予定

## ●ようこそ我が町～スマートICからスムーズに観光名所へ～

本スマートICの供用によって、周辺観光地などへのアクセス向上に期待が高まっています。“にぎわい交流・防災の拠点”として国から「みなとオアシス」の認定を受けている「大井川港」、豊かな自然を感じながら走ることができる大井川左岸にあるマラソンコース「リバティ」、国の重要無形民俗文化財の大井八幡宮「藤守の田遊び」、国内でも有数の光学式大型望遠鏡を備える「ディスカバリーパーク焼津」など歴史的名所や観光施設が多数存在します。



## ●東名高速道路沿線の歴史～相良牧之原IC開設～



## ●担当者の声～東名焼津・吉田間スマートIC～



「やいちゃん」  
焼津市 マスコットキャラクター

### 平成27年度末の供用開始に向け工事を実施中!

焼津市 都市基盤部道路課 東名新IC設置推進室 主任主査 福與 守

現在建設中のスマートインターチェンジは、平成23年3月1日、国土交通大臣から東名高速道路と焼津市道0105号線とを接続するための連結許可を受け、平成28年3月の供用開始を目指し、事業を進めています。当スマートインターチェンジは、東名高速道路では、初となる本線直結型となるETC専用のスマートインターチェンジとなります。当事業につきましては、地元の皆様を始め関係機関等の御理解と御協力により、平成25年9月に工事に着手しました。現在の工事の進捗状況ですが、上り・下り線のランプのブロック積み及び盛土工、また隣接する生活道路等の整備を着々と進めています。

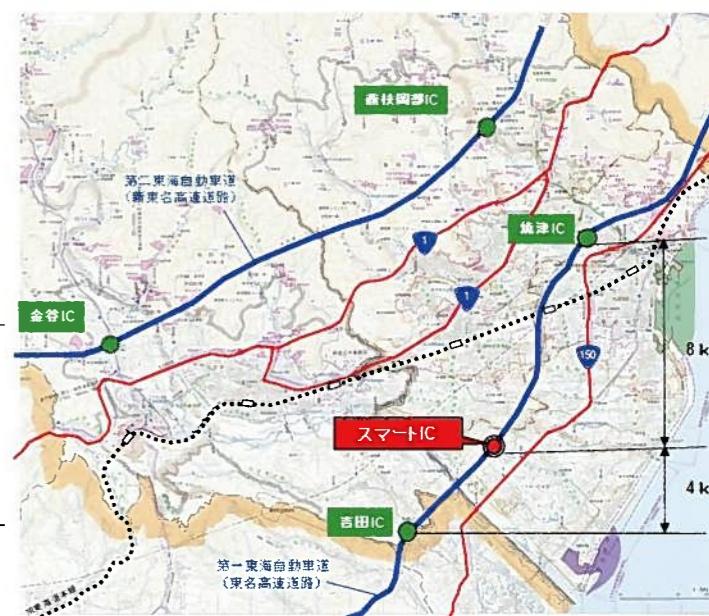
#### 事業概要

- 路線名: 東名高速道路(第一東海自動車道)
- 連結位置: 烧津市 上泉・上新田 地内(市道0105号線)
- 計画交通量: 5,800台/日(平成42年)
- 運用形態: フルインター形式(不完全クローバー型)
- 運用時間: 24時間
- 対応車種: ETC車載器を搭載した全車種
- 供用予定期: 平成28年3月末
- 事業期間: 平成23年度～平成27年度

#### 事業費

- 全体(概算事業費) 約52億円  
(焼津市・藤枝市 約20億円)  
中日本高速道路株 約32億円

#### 位置図



#### 事業経過

- 平成23年 1月 国土交通省に実施計画書を提出
- 平成23年 1月 国土交通省に連結許可申請
- 平成23年 3月 国土交通大臣から連結の許可
- 平成23年 5月 中日本高速道路会社と基本協定の締結
- 平成24～25年 事業用地の取得
- 平成25年 9月 工事着手



施工状況 上り線側ランプ



施工状況 下り線側ランプ